



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 *SGH*通信 2020

No. 16 (令和2年8月27日発行)

## 文部科学省後援 PDA 全国高校即興型 ディベート合宿・大会2020 出場！

令和2(2020)年8月8(土)、9(日)に、「文部科学省後援 PDA 全国高校即興型ディベート合宿・大会2020」が開催され、SGHクラブディベート班の10名がオンラインで出場しました(オンライン大会のため宿泊はなし)。その結果、**1年1組片柳賀那、2年4組江部青飛が Best POI 賞を受賞**しました。また、**1年生チームは7戦6勝、2年生チームは強豪浅野高校を破る**など、好成績を残しました。



### ■ 大会のルール

- ・各ラウンドの15分前に論題と対戦相手が発表され、即興で立論などを考えて戦う。
- ・チーム以外のメンバーとの相談、インターネットで論題について調べることは禁止。

### ■ 大会で出た論題

ラウンド1 : A grade should be decided based on learning outcomes.  
(学習成果に応じて学年を決めるべきである。)

ラウンド2 : A fat tax should be introduced.  
(脂肪税を導入すべきである。)

ラウンド3 : Persons who spread a virus on purpose should be sentenced to death.  
(ウイルスを故意に拡散すれば、死刑とする。)

予選ラウンド1 : Japan should accept more foreign refugees.  
(日本はもっと難民を受け入れるべきである。)

予選ラウンド2 : Japan should legalize euthanasia.  
(日本は、安楽死を合法化すべきである。)

予選ラウンド3 : A pet tax should be introduced.  
(ペット税を導入すべきである。)

準決勝ラウンド : Authoritarianism is better than democracy during the COVID-19 pandemic.  
(コロナ禍では、民主主義より権威主義の方がよい。)

決勝ラウンド : A life imprisonment should be imposed on a person who lead others to commit suicide with slander.  
(誹謗中傷で自殺に追い込んだ場合、終身刑を課す。)

## ■ 当日のスケジュール

【1日目】

12:00~12:25	開会式
12:25~13:30	ラウンド1
13:30~14:35	ラウンド2
14:35~15:25	ラウンド3
15:25~15:40	休憩
15:40~16:40	予選ラウンド1
16:40~17:30	休憩
17:30~18:30	zoom 夕食会

【2日目】

8:50~9:55	予選ラウンド2
9:55~10:10	キーノートレクチャー
10:10~11:10	予選ラウンド3
11:10~11:30	レクリエーション
11:30~12:50	昼食
12:50~14:00	準決勝
14:00~15:00	決勝
15:00~15:40	表彰式

## ■ 大会のハイライト

<試合>

開始 15 分前に論題が発表され、チーム内で「どんな立論を出すか」「相手はどんな論を出してきそうか」などを話し合います。論題は、タイムリーな話題から政治的なものまで多岐にわたり、短時間で何を話すかを考えなければならないので、『英語での発信力』、『論理的思考力』、『幅広い知識』、『プレゼンテーション力』が鍛えられます。生徒は、短時間で考えたとは思えないほど流暢に話せていました。



相手のスピーチ中に質問(POI)

<zoom 夕食会>

本来の大会では参加者が一堂に会し、交流を深める時間ですが、今回はリモートでの開催のため、zoom での夕食会が開催されました。zoom の機能であるブレイクアウトルームに無作為に3、4人の生徒が分けられ、自己紹介や学校紹介をしながら夕食を食べました。生徒は初対面の他校生に緊張しながらも、積極的にコミュニケーションを取りました。



<レクリエーション>

予選ラウンド終了後、VR ゴーグルを使ったアトラクションの体験が行われました。郵送された VR ゴーグルを装着し、映像を見ることで、あたかもその場にいるかのような臨場感を味わえます。今回はテーマパークのジェットコースターの映像を見ました。生徒は、椅子を揺らしたり扇風機を使ったりして、リアルさを追求して楽しんでいました。



## ■ 生徒の感想

2年1組 新井優平「準決勝に進むような強豪校に勝ててうれしかった。でも、今回の大会全体を通して、勝てた試合はもちろん嬉しかったが、負けた試合も、悔しさだけではなく楽しさや『全国レベルでも戦える』という自信を持つことができた。こうやって戦えたのも、今まで一緒に練習してきたチームのメンバーや部員のおかげなので、感謝したい。」

2年2組 小林杏珠「今回は、強豪校ばかりが揃う部門への出場に加えて、初めてのオンライン大会で、最初はとても不安だった。でも、大会が終わった今は、自分の成長を感じられたし、『楽しかった』という感想しかない。それも、支えてくれた部員のおかげ。」

1年1組 片柳賀那「今回自分たちのチームは7戦中6勝したり、機材トラブルがあったときも相手の論を予想しながら試合ができた。応援に来てくれた部員がリラックスさせてくれたおかげ。先輩とのアドバイスのおかげで今回褒められた箇所もあったので、感謝したい。」